

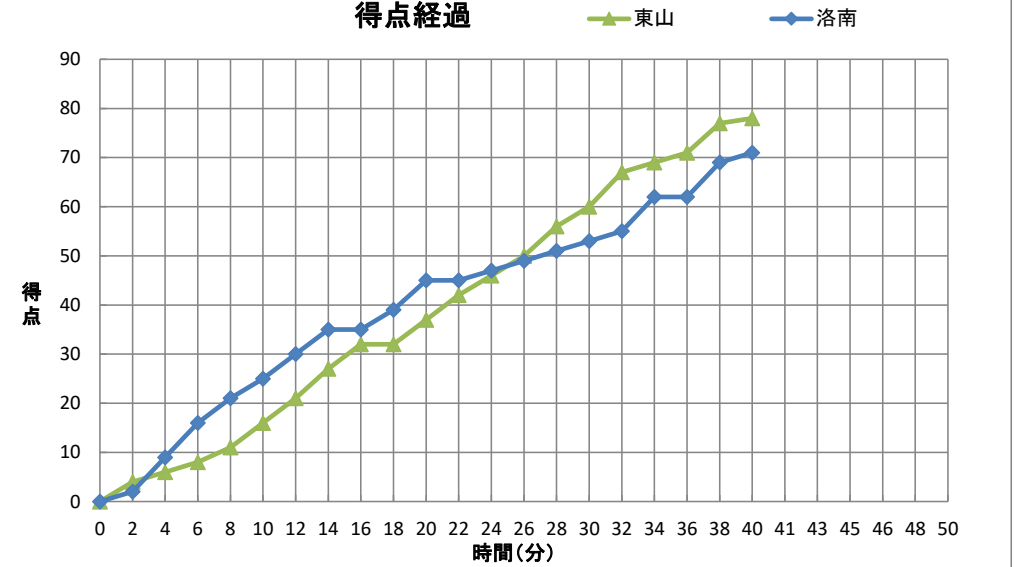


令和元年度全国高等学校総合体育大会京都府予選 兼  
第66回近畿高等学校バスケットボール選手権大会 京都府予選

個人トータル表

男子		6月1日	16:00	開始												
決勝		ハンナリーズアリーナ		M												
◎ 東山	78	<table border="1"> <tr><td>16</td><td>1st</td><td>25</td></tr> <tr><td>21</td><td>2nd</td><td>20</td></tr> <tr><td>23</td><td>3rd</td><td>8</td></tr> <tr><td>18</td><td>4th</td><td>18</td></tr> </table>	16	1st	25	21	2nd	20	23	3rd	8	18	4th	18	71	洛南
16	1st	25														
21	2nd	20														
23	3rd	8														
18	4th	18														
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則			
* 4	松野 圭恭	14	0	4	6	2	* 4	北橋 岳洋	3	1	0	0	3			
* 5	脇阪 凧人	12	2	3	0	2	* 5	星川 堅信	22	0	10	2	3			
6	横井 裕史	0	0	0	0	0	6	藪田 陽大	0	0	0	0	1			
* 7	中川 泰志	14	2	4	0	4	7	横野 伶	6	2	0	0	0			
8	河合 志道	-	-	-	-	-	8	大西 一輝	-	-	-	-	-			
* 9	ムトンボ ジャン ビエール	22	0	9	4	2	9	原田 太一	-	-	-	-	-			
10	池口 悦生	-	-	-	-	-	10	伊関 傑	-	-	-	-	-			
* 11	米須 玲音	16	0	7	2	0	11	熊田 彩人	-	-	-	-	-			
12	楠田 怜利	-	-	-	-	-	12	北川 舜	-	-	-	-	-			
13	清水 拳	-	-	-	-	-	13	土屋 陸夫	-	-	-	-	-			
14	峰崎 奨	-	-	-	-	-	* 14	小川 敦也	27	0	12	3	3			
15	矢倉 啓輔	-	-	-	-	-	* 15	浅野 ケニー	11	3	1	0	3			
16	村山 陣	-	-	-	-	-	* 16	松山 雄亮	2	0	1	0	2			
17	西部 秀馬	0	0	0	0	0	17	西村 慶太郎	0	0	0	0	0			
18	大村 瞭斗	-	-	-	-	-	18	大石 日向	-	-	-	-	-			
コーチ	大澤 徹也					0	コーチ	吉田 裕司					0			
Aコーチ	田中 幸信						Aコーチ	河合 祥樹								
合計		78	4	27	12	10	合計		71	6	24	5	15			
主審: 富島 健司																
副審: 川路 宗勅																
副審: 中澤 久馬																

得点経過



CTO	1・2P	3・4P		OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	7:47	:	38:55	39:48	:	:	:
TeamB	13:43	:	25:39	35:26	:	:	:

〔 戦 評 〕

1Q、#9のゴール下で東山は先制し、#7のゴール下・#11のドライブインと得点していく。洛南は#14がドライブ、スティールから速攻、ジャンプシュートと多彩な攻めをみせ、#5が合わせてバスケットカウントを奪い、流れをつくる。東山は#7が3Pでつなぎ、タイムアウトで洛南の流れをきり#5のジャンプシュート、#7の速攻で盛り返す。16-25の洛南リードで1Q終了。

2Q、洛南はいい形で速攻から#7が3Pを決め、#5のゴール下、#15の3Pが決まる。一方の東山は#9のリバウンドシュート、#5の3Pが決まり、#11が2連続で得点し流れを引き寄せると洛南はたまたまタイムアウト。しかし、流れは変わらず東山#9がバスケットカウントを含む3連続得点で3点差に迫る。対する洛南は#5のジャンプシュート、バスケットカウント、#7の3Pで粘りを見せ37-45と洛南がリードし前半終了。

後半、東山は出だしから#7のポストプレー、#4・11のフリースロー、#9のインサイドと着実に得点を重ねていく。一方の洛南は攻め手がなく#5のゴール下・#14の速攻でつなぐが、東山は#7が3Pを決め、残り5分で49-49と試合をイーブンに戻す。洛南はタイムアウトを取るが打開できず、逆に東山#9のアリウープ、#4・#5のドライブ・ジャンプシュートが決まり60-53と東山リードで最終Qへ。

4Q、東山は#4の速攻、#9のゴール下、#11のドライブインとバランス良く得点し一気に14点差をつける。一方の洛南は#14が速攻を含め3連続得点し、#5のゴール下、#14の速攻で残り5分で再び5点差とせまる。しかし、東山は#7の速攻、#11の連続得点でリードを保ち、洛南は点差を詰めるべくプレスを試みるが78-71の7点差で東山の勝利で試合終了となった。

戦評: 同志社国際 木村 励 記録: 南陽高校